

ホームページ



http://uchida-ta  
motsu.jimdo.com

# 南知多民報

発行：日本共産党  
南知多町委員会  
連絡先：町議会議員 内田保  
南知多町内海内塩田77-3  
(TEL・FAX: 0569-62-1816)

## 3月議会の報告

# 誰もが安心して暮らし続けられる町づくりを！



大井聖崎公園の河津桜

3月議会は、2023年度の予算について決める議会です。内田保議員は、初日の提案議案に対しては、40項目にわたる質問をし、議案内容を深めました。

町民からは「平和・いのち・くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する意見書」の採択を求める請願が出され、内田議員が紹介議員となり、賛成討論をしました。

一般質問は、今回も4人のみの質問でした。内田議員は

- ①子育て・保育・学校教育政策の充実のために
- ②町民が安心して暮らし続けられる交通手段等の町づくりについて
- ③カーボンゼロに向けた地球温暖化対策の実施を

の3点について、質問しました。その内容をお知らせします。

### 給食費無償化の継続、学童保育の充実を

《内田》令和5年度も保育所・小中学校の給食費無償化を続けてほしいとの声が強いです。今後の無償化継続の願いにどのように答えていくのか。



《答 厚生部長》継続は考えていない。しかし、物価高騰による材料費上昇に伴う給食費の値上げについては、令和5年度は町で負担する予定である。

《内田》保育所の0～2歳児の世帯の給食費は、控除されなかったが、控除すべきではなかったのか。

《答 厚生部長》0歳から2歳までは、給食費も含めての保育料となっている。今回の無償化は給食費の減免であり、保育料は対象外で、無償化の対象とはしなかった。

《内田》0歳児は子ども3人に保育士1人、1・2歳児は6人に1人、3歳児は20人に1人、4・5歳児は30に1人では、とても大変である。本町としてのサポート体制はどのように考えているか。

《答 厚生部長》町独自の基準は定めていないが、国基準以上の手厚い保育体制をとっている。必要に応じ所長等が補助に入ったり、配慮が必要な子には加配保育士を配置している。



《内田》内海の学童保育の定員が少ないために入りたいのに入れず、南知多町を離れた人も聞いた。各地区の学童保育の定員拡張等、学童保育の充実のための工夫は、どのように考えているか。

《答 厚生部長》内海の学童保育には、令和5年度は20人の定員に21人の申込者があったが、全員受け入れる予定である。夏休みの内海の児童クラブは定員に達しており、豊浜の児童クラブに案内する予定である。今後は利用希望を把握し、対応できる施設を探すなど検討していく。

### 外出不便な町民へ交通サービスや買い物のできるサービスを

《内田》外出等が不便な町民に、町として地域のボランティアや各区の組織に、許可・登録不要の地域交通サービスの検討を進めていくことが必要ではないか。

《答 まちづくり推進室長》路線バスの走っていない交通空白地や自宅からバス停までの移動が困難な方に対して、ボランティアや地域の助け合い活動による交通サービスは有効である。今後様々な団体に、移動手段を確保するための許可・登録を要しないモデル事業を紹介し、意欲ある実施主体の方と検討していきたい。

《内田》豊浜地区の住民から、移動販売車等のサービスを実施してほしいという要望がある。町として、どのように考えるか。



《答 健康介護課長》町内で移動販売をしている業者等と連携して、既存の配食サービスやボランティアによる買い物代行などの施策を組み合わせ、買い物に困っている高齢者への支援や地域の見守りネットワークを強化していきたい。

### カーボンゼロに向けた地球温暖化対策の実施を



《内田》地球温暖化対策は世界的に取り組まれている。南知多町も県の補助を利用して、自宅屋根・駐車場等への太陽光発電設備、断熱改修等の設置工事・購入経費の一部補助を導入すべきではないか。

《答 厚生部長》本町としても、温室効果ガス削減と地球温暖化防止を目的とする補助を、今後導入すべきと考えている。

この間、地元の方からいくつもの相談や要望、ご意見をいただいた。また、公共施設再配置検討委員会を傍聴したり、女性団体主催の「ワールドカフェ」にも参加したりし、多くの町民の声を聞かせていただいた。▼高齢者は「難聴になりた家に閉じこもりがちになって、それが、補聴器を勧められ、つけるようになって、世界が変わり元気になった。ただ補聴器はとて高く清水の舞台から飛び降りるような気持ちで買った。もつと公的な補助がほしい」「スピーカーがなくなり買い物がとても不便になった。なんとかしてほしい」▼ワールドカフェの参加者からは「女性が働きながら子育てできる環境・条件が南知多は他市町より悪いので、もっと整えてほしい」「役場の管理職や町議会、町の審議会などへの女性の参加が少なく、女性の声が届きにくい」▼このような声をもとに、今回も議会で質問した。南知多町は人口減少が続く予算も少ない町だが、赤ちゃみから高齢者まで誰もが住みやすい町にするために、これからの様々な声を届けていきたいと思う。

## たもつ日記

